

平成 26 年 1 月 8 日

松山河川国道事務所調査第一課

かいほつかすみ  
「第 5 回開発霞ワークショップ開催」

～重信川開発霞の自然再生に向けた整備内容策定に関する協議を実施～

東温市上村の重信川開発霞（かすみの森公園）において、自然環境復元に向けた計画づくりを議論する第 5 回目のワークショップを開催します。今回の協議で具体的な整備内容が決定される予定です。

## ◆日時

平成 26 年 1 月 14 日（火） 15:00～17:00

## ◆場所

東温市役所 4 F 403 会議室  
（東温市見奈良 530-1）TEL：089-964-2001

## ◆開発霞ワークショップ

「開発霞ワークショップ」は、学識者 4 名、公募メンバー 15 名、オブザーバー（行政等）4 名の合計 23 名で構成されています。今回は、具体的な整備内容の決定を行い、整備後の維持管理や利活用について、3 班に分かれて議論をして実施方針をとりまとめ、今年度のワークショップを閉会する予定です。予定している議事内容は以下のとおりです。

- 第 4 回ワークショップの振り返り
- 開発霞自然再生の整備内容
- 開発霞整備後の維持管理・利活用

## ◆備考

- ・傍聴、撮影は自由ですが、進行中に発言はできません。進行の妨げになると事務局が判断した場合は、退場していただく場合があります。
- ・質問等については、ワークショップ終了後事務局が対応します。



整備イメージ図

詳細については当事務所HP（<http://www.skr.mlit.go.jp/matsuyam/>）をご覧ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「NO. 1 人と文化を育む産学官連携プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先：四国地方整備局松山河川国道事務所調査第一課

副所長（河川）：関谷 浩二（内線：204）

◎ 調査第一課長：岩本 康宏（内線：351）

代表 089-972-0034

直通 089-972-0612

FAX 089-972-6612

◎：主な問い合わせ先

# 第4回 開発霞ワークショップの概要

(参考)

日時・場所

平成25年11月20日(水) 10:00~12:00

東温市役所405会議室

## 第3回ワークショップの検討結果および今回の検討課題

ファシリテーターの二神先生と事務局の方から、第3回ワークショップの検討結果および、今回の検討課題である、①「保全、再生対象生物(指標生物)」, ②「開発霞自然再生の整備内容」, ③「開発霞整備後の維持管理・利活用」について説明がありました。

### 意見交換

「保全、再生対象生物(指標生物)」, 「開発霞整備後の維持管理・利活用」については、今回のワークショップ参加メンバー14名での全体討議を、「開発霞自然再生の整備内容」については、3班に分かれ意見交換を行いました。



1班の議論



2班の議論



3班の議論

### 意見交換の総括

全体討議および各班に分かれての意見交換結果について、ファシリテーターの二神先生より、総括として以下のコメントを頂きました。

#### ◇保全、再生対象生物(指標生物)について

昆虫類について、ツマグロキチョウは中目標に置いておいて、ツマグロヒョウモンは目標種から外す。それ以外は、今回提示した小目標、中目標、大目標という形で目指していきたい。

#### ◇開発霞自然再生の整備内容について

- ・ゾーン区分については、今回提示した内容で良いという意見でした。
- ・上流の泉、ジャブジャブ池については、共通するところ、相反するところ等、色々な意見が出たので、事務局の方でとりまとめ、次回のワークショップでもう一度議論を行いたい。
- ・小川(水路)の構造についても、色々な意見が出ているので、事務局の方でとりまとめ、次回のワークショップで議論を行いたい。
- ・樹林については、共通の認識としてドングリが良いという意見があったが、これについても色々な意見が出たので、次回のワークショップで議論を行いたい。

#### ◇開発霞整備後の維持管理・利活用について

維持管理については、今回あまり意見が出なかった。次回までにどういう形で開発霞を維持管理していけば、今回提示した問題をクリアできるのかを各自で考えて頂き、次回ワーキングではグループで議論し、それをとりまとめていきたい。



1班の発表



2班の発表



3班の発表